全腎協第20-1099号

2020年12月18日

全腎協加盟組織　御中

会員の皆様へ

一般社団法人　全国腎臓病協議会

会長　馬場　享

新型コロナウイルス感染症対策

感染者数増加と年末年始の移動についてのお願い

12月18日、新型コロナウイルス感染対策合同委員会（日本透析医会、日本透析医学会、日本腎臓学会）は、透析患者の感染者数は累計475人で66人が死亡したことを発表しました。新型コロナウイルス感染透析患者の入院ベッド数が満床に近くなってきていることから同委員会では、12月18日付で透析医療機関に対して新規感染者数急増に対する対策へのお願いをしています。

新型コロナウイルス感染症は、私たちの身近に迫ってきました。いつ感染してもおかしくない状況です。繰り返しになりますが、透析患者や高齢者は感染リスクが高いと言われています。今まで以上に、会員一人ひとりが感染症対策について危機感を持ってご対応くださいますよう強くお願いいたします。

　年末を迎え、帰省等で都道府県を越える長距離の移動などは極力控え、不要不急の外出は行わないよう予防に努めてくださいますようお願いします。

今後も油断することなく引き続き感染症対策へのお取り組みをお願いします。

1. 外出時や通院時などマスクを着用してください。
2. 丁寧な手洗いとアルコール等による消毒、うがいをお願いします。
3. 不要不急の外出は避けてください。密閉・密集・密接の場も避けてください。
4. 帰省等で他県への移動など長距離の移動が必要になった場合には、事前に透析施設に相談し、透析施設の指示に従ってください。
5. 毎日の体温測定を行い健康状態に注意してください。

発熱や咳、嘔吐や下痢などの症状がある場合は、透析施設に必ず電話連絡を

し、透析施設の指示に従ってください。

**※暖房を使用する機会が多くなります。部屋の換気等には十分ご注意ください。**

**※病院患者会・会員への周知徹底をお願い申しあげます。**

**※参考：touseki-ikai.or.jp/htm/03\_info/doc/20201218\_request\_for\_cooperation\_against\_the\_rapid\_increase\_of\_covid19.pdf**